

田原中3年 齋竹健彰

行きの飛行機の中、僕は不安で一睡もできませんでした。でも、着いてホストファミリーと話すうちに、そんな不安は消えました。とにかく優しく、何にも知らない僕たちに、バンクーバー市内や学校生活の過ごし方などを教えてくれました。でも、客という特別扱いをされなくて、本当の家族として接してくれました。とても嬉しかったです。言葉が通じず、困ることもありませんでしたが、言いたいことや気持ち伝えようとすれば、言いたいことは伝わりました。心が通じ合っているのは、こういうことなんだなと思いました。

田原中3年 樽谷恵美子

私のホストファミリーは、韓国人の家族でした。5年目にカナダに来たばかりなので、家では韓国語を話し、食事や洋服ではなく、カレーやカツにサラダやスープで、毎回キムチと韓国のりが出ました。カナダには日本食、特に寿司(の店が多くあり、ZANZAなどのマシナ)の店がすごくあり、日本の文化がカナダの人々に受け入れられていることを実感しました。

カナダでうまく英語が通じるか不安だったけど、みんなが私の英語を理解しようとしてくれて嬉しかったです。カナダが素敵な国だと知ることができてよかったです。

田原中3年 大迫小百合

私はカナダに行く前、今まで言ったことのない自分とは違う言葉話す国に行くことが不安でした。ちゃんと自分の英語が通じるかどうか、すごく心配でした。でもホストファミリーやカナダでできた友達と話していたらそんな不安もなくなりました。相手の人が私がうまく英語を話せないことを分かってくれていて、理解しようとしてくれたからです。

私もそういうカナダの人々の国際交流に対する姿勢を見習っていきなりたいと思います。

田原中3年 長崎公香

私はこの海外派遣を通して、カナダの人々の良いところを発見し、それによって日本人の良いところや、見習わなければならないところが見えてきました。カナダの人々のように常に自分の考えをしっかりと持ち、外国の人たちとも積極的に良い関係をつくっていくるようにしながらも、日本人の繊細な部分も大切にしていきたいです。この経験で学んだことは、これからの私たちの生活に良い刺激を与え、十分生かされると思います。

野田中3年 山田竜己

カナダへ行って一番印象に残ったのは、日本と外国との生活の違いです。その中でも、授業中に物を食べる人がい

ることにとっても驚きました。昼食も学校の外で食事をする人がいたりしました。食事の仕方ひとつとっても日本と外国との違いがこんなにあることに本当に驚きました。これ以外にも外国のことをたくさん知ることができ、とてもよい経験となりました。こんどはもっとゆっくりと時間をかけて行ってみたいですね。

野田中3年 伊藤聡

海外派遣に行つて、やはり一番心に残ったことといえばホームステイです。初対面にもかかわらず、当たり前のようにつながってくれました。それがうれしかったんです。言葉は少々不安でしたが、伝えようとすると向こうも必死で理解しようとしてくれて、何とか伝えることができました。そのときは自分の英語が通じてとてもうれしかったです。バンクーバーは街もとても美しく、誰もが親切にしてくれました。これを機に英語の勉強をもっとがんばって、もう一度ホストファミリーに会いに行きたいです。

赤羽根中3年 近藤愛弓

カナダの学校は自由にのびのびとした印象を受けました。日本の学校のように時間厳守といったことは全然なく、遅刻しても余裕で平気でした。それでも、授業が終わったら急いで教室移動するカナダの生徒たちの様子に、

学習することへの意欲を強く感じました。実際、授業中には生徒たちが積極的に発言し、真剣に授業を受けていました。そのような様子は、私にとって良い刺激になりました。学習環境も日本とは異なっていて、少し抵抗はありましたが、逆に自分の視野を広げる機会になりました。大変貴重な経験をしました。

赤羽根中3年 木田有紀

カナダがあ。これが初めての土地へ来た私の最初の言葉でした。私が行ったことのない世界は、はじめて「がいっぱいで、とても新鮮でした。

カナダの人々はとても親しみ深く、はきはきとしていて、それでいてとても優しくなりました。日本人とは違っても社交的で、自分の意見をしっかりと持っている人が多いと感じました。また、カナダへ行ったことで、日本とカナダの文化や習慣の違いを学ぶことができました。本当に良い経験をする事ができました。

